

JSEKM 第 17 回全国大会＝オンライン開催＝
(ZOOM 使用)

概要 (2022 年 8 月 22 日現在)

開催日時：

※第 1 日目 2022 年 9 月 4 日 (日) 開始 13:00 (入室 12:45～) 終了予定 17:30

※第 2 日目 2022 年 9 月 11 日 (日) 開始 10:00 (入室 9:45～) 終了予定 16:00

<全体スケジュール>

※ 2022 年 9 月 4 日 (日)

12 時 45 分～ 入室

13 時 00 分～ 開会の辞、オンライン総会

13 時 30 分～ 基調講演

14 時 30 分～ 休憩

【電子オルガン部会】

14 時 45 分～ ラウンドテーブル／研究発表 (電子オルガン部会)

17 時 30 分 第 1 日目終了 (予定)

※ 2022 年 9 月 11 日 (日)

【電子ピアノ・ICT 部会】

9 時 45 分～ 入室

10 時 00 分～ 開会

10 時 00 分～ ラウンドテーブル／研究発表

【タテ線譜・ユリディス部会】

12 時 45 分～ 入室

13 時 00 分～ ラウンドテーブル／研究発表

16 時 00 分 第 2 日目終了 (予定)

<プログラム>

※第1日目：9月4日（日）

◎金銅英二代表幹事挨拶、オンライン総会（活動報告、会計報告）（13:00-13:30）

◎基調講演（13:30-14:30）

城谷 正博先生（指揮者・新国立劇場オペラ音楽チーフ）

「オペラにおける電子オルガンの活用とその可能性」

=====休憩（15分）=====

【電子オルガン部会】

◎ラウンドテーブル（14:45-16:15）

「楽器から見る楽譜の変遷」

話題提供者：

岩井 孝信（聖徳大学）「楽器から見る楽譜の変遷」

三宅 康弘（上野学園大学短期大学部）「絶版になった電子オルガン楽譜の入手法」

◎研究発表（16:30-17:30）

①「電子オルガンとスコアリーディング～オペラの現場を通して、楽譜の形態とそれぞれの活用～」

西岡 奈津子（演奏家・平成音楽大学）

②「アフターコロナ エレクトーン復興ビジョン - I - 持続可能なSDG's 普及を求めて」

阿方 俊（平成音楽大学）

③「クラシックオルガンを用いた管弦楽曲の演奏～PAから見るオーケストラでの実践～」

五十嵐 優（株式会社 Orinas）

第2日目：9月11日（日）午前の部

【電子ピアノ・ICT部会】

◎ラウンドテーブル（10:00-11:30）

「デジタル時代の音楽教室をソウゾウするII - “シンカ”する学び」

話題提供者：小梨貴弘（戸田市立戸田東小学校教諭）

内容：1 令和時代最先端の教育現場をレポート

2 進化（深化）した学びを体験するオンラインワークショップ

3 ICT活用クリニック（お悩み相談）

◎研究発表（11:40-12:10）

①保育者養成校における「音楽表現」のカリキュラム構築に向けてイメージにあった楽曲アレンジの授業から

赤津 裕子、鉄矢 千絵、仕入 順子（竹早教員保育士養成所）

第2日目：9月11日（日）午後の部

【タテ線・ユリディス部会】

◎ラウンドテーブル(13:00-14:50)

「すべての人々に演奏の喜びを-I ―その問題と解決策を探る―」

タテ線譜、ユリディスの紹介（15分間）

話題提供（35分間）

- ・坂井 康二*¹ ユリディスを用いた「坂井クラシックシリーズ」中間報告
- ・石井 良弥*² 長谷工センチュリーハウス武蔵浦和「タテ線譜プロジェクトII」の現状報告-2
- ・阿方 俊*³ さいたま市南区役所7F 健康寿命延伸のための「ふれあいミュージック」―6ヶ月記念コンサートをふり返って―
- ・西山 淑子*⁴ タテ線譜メソッドから五線譜への移行の現場報告
- ・齋藤 康之*⁵ ユリディスの新しい演奏インターフェース_第3ステップの概要と今後

休憩（10分間）

自由討議およびラウンドテーブルの纏め（50分間）

◎研究発表（15:00-16:00）

- ・阿方 俊*³ 「タテ線譜メソッド」の考え方について
- ・橘川 琢*⁶ タテ線譜メソッドの音楽療法上の意義について
- ・小出 英範*⁷ 演奏を容易にすることを旨とした新規な電子楽器の製作 -従来の楽器とは異なる演奏インターフェース-

*1) 厚木市民活動ネットワーク

*2) 長谷工センチュリーハウス武蔵浦和

*3) 平成音楽大学

*4) 昭和音楽大学

*5) 木更津工業高等専門学校情報工学科

*6) 作曲家、季刊「音楽の世界」編集長

*7) 東京情報大学